

## 消防団へ多機能型車両が交付される

12月18日（金）、鶴田消防署において、消防団多機能型車両交付式が執り行われ、財団法人日本消防協会（片山虎之助会長）から町への「消防団多機能型車両」の交付状伝達、町から消防団へ配備決定書の交付が行われました。

今回当町消防団に交付された車両は、消防団員が火災の他ほか、救助活動にも十分対応できるよう、小型動力ポンプのほか標準的な救助・救護資機材（AED・エンジンカッター・チェーンソーほか多数）を搭載した多機能型車両で、今年度は全国で16台の交付予定のうち、青森県で特に優れた消防団活動を行っていると思われる当町消防団に交付が決定されました。



音の静かな4サイクルエンジンポンプ



△今後さまざまな場面での活用が期待される



12/23 中央保育所おゆうぎ会

12/18 あやめ児童館クリスマス会

12/4 交通安全母の会の皆さんが高齢者の方へ反射材付き手袋を配布



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを役場総務課まちづくり班までどしどしお知らせください。（☎22-2111 内線263）

## 伝統の技ここにあり

12月19日（土）、鶴田八幡宮神楽殿において、弥生画の大作を制作中である元町弥生会（大船晃嗣会長）の皆さんへ中野町長が激励に行き、張り付け作業を行いました。

今年の弥生画は、「福祿寿津軽富士見湖物語」という題名で、今年も五穀豊穰への願いが込められ制作されています。221年目を迎える奉納弥生画は、会員それぞれが技を磨き、伝統に恥じない作品を制作しようと頑張っていました。

参拝の際は、ぜひ正面大鳥居をご注目ください。



△一点集中する女性の会員、一時間たりとも気が抜けない



△豆の貼り方も裏表があり、ピンセット行う精密作業



△細かい作業に感心する中野町長

## 世界に1つだけのクリスマスリース

12月12日（土）、公民館において、鶴田町子ども会育成連絡協議会（中村琢司会長）主催「お父さんお母さんのためのクリスマスリースづくり教室」が開催され、町内からの父母20人が参加して、自然の草木を使ったリースづくりが行われました。

講師を務める梵珠少年自然の家 研修課 古川浩二先生から、リースの基本となる輪の作り方の指導が行われると、参加者は熱心に耳を傾けリースづくりに取り組み、町ではなかなか手に入れることのできない、自然の木の实や草木を装飾に使い世界に1つだけのクリスマスリースを完成させていしました。



私のリースです



△時間を忘れリースづくりを楽しむ参加者



△しっかりとした作法でお茶をいただく園児たち

## お茶の作法がしっかりできるように

12月17日（木）、水元中央小学校礼法室で、中野社中を主宰する中野京子さん（表千家弘前支部教授会所属）が講師を務める「お茶教室」が開かれ、ききょう児童館の園児たちと水元中央小学校の児童が一緒にお茶の作法を学びました。

中野先生によるお茶教室は4月から行われており、今回で児童館の園児たちは8回目、小学校の児童たちは3回目になります。



はじめて茶せんで茶をたてる児童

今まで先生から学んだことを一つずつ復習しながら、作法をしっかり行い、そして、みんな大好きな抹茶とお菓子を味わって、今年度の教室が楽しく終了しました。

## 伝統を次の世代へ・山道弥生画

12月17日（水）、山道老人憩いの家で、胡桃館小学校（佐藤勝博校長）6年生の児童たちが、山道弥生画保存会（小野寺秀昭会長）の方々から指導を受けながら、山道くらおう神社に奉納する弥生画の制作にチャレンジしました。

低い姿勢で、小さなコメや豆などを一粒ずつ貼って行く作業に、児童たちは弥生画の大変さが身にしみて分かったようです。この作業を通じて、山道地区の方々の弥生画へ対する思いが子どもたちに伝わったことは間違いありません。



ワラの編み方も教えてもらいました



△細かい作業を一緒に手伝う児童たち